

教え子を再び戦場に送るな

2面・教育署名スタート集会
・映画の中の教師たち



第435号
2018年
7月25日

発行所
静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyouso.jp/
e-Mail info@s-koukyouso.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

すべての年齢層で給与水準の改善を

— 県公務共闘が人事委員会要請 —

県公務公共業務労働組合共闘会議(県公務共闘・木藤功議長)は7月17日、県人事委員会に今年度人事院勧告を前に公務労働者の勤務条件改善等を求めて要請書を提出しました。人事委員会から給与課長、専門監が対応し、公務共闘からは木藤議長以下、自治労連、全教静岡、県国家公務員労働組合の代表5人が参加しました。

「総合的見直し」で高齢層の給与水準低下

17年度人勧では4年連続の改善となりましたが、「給与制度の総合的見直し」による引き下げで実際の給与改善は若年層にとどまり、現給保障措置の終了で、高齢層の給与水準は低下しました。さらに退職手当引き下げが強行されるなど、公務労働者の生活は一向に改善されません。すべての年齢層、正規・非正規にかかわらず、公務労働者の給与水準引き上げは今年度の大きな課題です。

非正規職員の待遇改善

公務職場は人員削減、臨時職員の増加などによる多忙化がすすみ、公務員の生活や勤務条件は厳しさを増しています。一方で非正規職員などでは職場が成り立たない状況にあり、非正規職員の待遇改善は急務です。国が改善をすすめるとした「会計年度任用職員制度」の内容があらかになり、どのように各自治体が制度を具体化させていくのか、注視している。



人事委員会給与課長に要請書を渡す木藤議長

「定年延長・退職手当はくのか注視していかねればなりません」

人事評価制度等

給与課長は「民間調査はほぼ終了し集約中、現在夏季賞与を調査している。一時金はばらつきがある」「給与制度の総合的見直しで、公民較差にどのような影響があるのか、高齢層の較差がどう出るのか、注視している」

「定年延長・退職手当はくのか注視していかねればなりません」

業務量に見合う人員・定数配置を

これに対し「見直しによる、高齢層の給与引き下げ幅は大きい、公民較差にかかわらず改善を検討してほしい」「公務の業務量と必要な人員、定数配置について、会計年度任用職員制度により、正規職員がそれに置き換えられ、正規職員の減少に繋がらないよう監視してほしい。仕事量が増えているのに時間だけ早く終わるように

非正規職員制度の大きな変更

— 会計年度任用職員制度 —

総務省は、地方公務員の臨時・非常勤職員は16年4月現在で64万人と増

「定年延長・退職手当はくのか注視していかねればなりません」

業務量に見合う人員・定数配置を

「定年延長・退職手当はくのか注視していかねればなりません」
結果を見て、地方公務員の実態等を考慮した制度になるのではないかと「会計年度任用職員制度については、任命権者が制度の具体化に向け検討している。情報や報告を受け、必要な意見、問題提起等をしていく」「人事評価制度についてはこれまで勧告し、県教委も施策を進めている。引き続き報告等うけていく」などと述べました。

「定年延長・退職手当はくのか注視していかねればなりません」

業務量に見合う人員・定数配置を

「定年延長・退職手当はくのか注視していかねればなりません」
これに対し「見直しによる、高齢層の給与引き下げ幅は大きい、公民較差にかかわらず改善を検討してほしい」「公務の業務量と必要な人員、定数配置について、会計年度任用職員制度により、正規職員がそれに置き換えられ、正規職員の減少に繋がらないよう監視してほしい。仕事量が増えているのに時間だけ早く終わるように

主張

現行科目「現代社会」は「社会と人間に関する基本的な問題についての理解を一層深め、現代社会に対する判断力の基礎と人間の生き方について自ら考える力を養う」ことを目的として1978年に当時の社会科学に創設されました。政治・経済・社会・倫理・文化などを総合的に扱う科目であるという性格が、批判と歓迎の両方を生んだと言えます。

誰のための「公共」か

しかし、その後の学習指導要領改訂の度に必修科目から選択科目へ、4単位から2単位へ、ついには2022年度から「公共」に代わるといふ運命をたどることになりました。

追加され「公共」への地ならしがすすんで行われていくことです。新科目「公共」のねらいは「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な

形成者を育成」内容(1)「公共」の扉(2)自立した主体として国家・社会の形成に参画し、他者と協働するた

意味での「国家の有為な形成者」を育てたい、という性格であることが明確に浮かび上がってきます。

国会で首相自ら平然とヤジを飛ばし、民主政治の根幹たる公文書を改ざんし、「お友達」優遇の政治の私物化や生活保護費の大幅削減を行い、強行採決を繰り返して恥じない現政権が「公共」をスタートさせたという事実を、決して忘れるべき

「会計年度任用職員フルタイム」は、例えば非常勤講師のフルタイム勤務は考えられないとし、配置はないとしています。

20年度導入に向け、19年度には募集採用が始まることとなります。任用や勤務条件などは今年度中に明らかにされます。

見逃せないのは、1989年の「公民科」設置の際に「人間としての在り方生き方を考える力を育てる」、2009年の改訂で「課題追求的な学習の重視」が「現代社会」の目標

形成者を育成」内容(1)「公共」の扉(2)自立した主体として国家・社会の形成に参画し、他者と協働するた

いること、また小中学校段階ですでに「道徳」教育が強化されてきたことを考え合わせれば、国のいう「公共」が「個人の人権も平和もガマンしてひたすら国を愛す」という非常に限定的な

国会で首相自ら平然とヤジを飛ばし、民主政治の根幹たる公文書を改ざんし、「お友達」優遇の政治の私物化や生活保護費の大幅削減を行い、強行採決を繰り返して恥じない現政権が「公共」をスタートさせたという事実を、決して忘れるべき

6月28日に、県教育委員会の説明会があり、臨時的任用教職員に関する、今後「任期付き職員」の活用、給与諸手当の内容、退職手当支給、空白の1日の解消、休暇制度、選考試験の実施・採用など、制度の具体化にむけ検討をすすめるとしています。

20年度導入に向け、19年度には募集採用が始まることとなります。任用や勤務条件などは今年度中に明らかにされます。

「会計年度任用職員フルタイム」は、例えば非常勤講師のフルタイム勤務は考えられないとし、配置はないとしています。

視座

暗記はいつし
たらしいのか？
正解は、寝る
前なんだそう
です。脳は、
寝ている間も、せせと働
き、目覚めるまでに、詰
め込んだものを整理整頓
してくれます。まさに自
動運転▼我々が意識して
考えている時、せいぜい脳
の10%ほどしか使っていない
ようです。ポーツとして
いる時に、ふと名案が浮
かぶ経験は誰にもあるで
しょう。そんな時、脳が
無意識のうちに働き、い
ろんなものをつなげて、化
学反応を起こし、思わぬ
アイデアを産み出すので
す。これは、デフォルト・モ
ド・ネットワーク (DMN)
と呼ばれ、脳科学で解明
されつつあります。ポーツ
としての人は、ポーツとし
ているようで、実はポーツ
としていないということだ
しょう▼フィーカとは、ス
ウェーデン語で、誰かとお
菓子とともにコーヒーを味
わうこと。最近、昼休み
や放課後など、ちよとして
たフィーカをするんです。
すると、会議でどれだけ
議論しても思いつかなかっ
たような企画がポツポツ
と立ち上がるんです。こ
れも、DMN効果、考え
てないようで、脳が自動
的に考えている状態。し
かも三人寄れば文殊の知
恵効果も。フィーカは、
無意味なようで意味のあ
る時間。さ、いよいよ、一
学期も終わり、夏休み
が始まります。よく寝
て、積極的にポーツとして、
フィーカを連発して、英
気を養うつもりです。

ゆきとどいた教育の実現のために 教育全国署名スタート集会

教育予算の増額による35人学級の前進、教育費の無償化、 給付制奨学金の拡大、特別支援学校の過大・過密の解消



7月14日、静岡県教育会館で、今年で30年目になる「教育全国署名」のスタート集会を行いました。すべての子どもには、ゆきとどいた教育を受ける権利があり、その条件を整えるのは国の責任です。教育条件の改善はすべての人の願いです。子どもたちや若者を励まし、地域づくりの運動としてゆきとどいたことをあらためて確認し合いました。

学習会では、全教中央執行委員の波岡知朗さんからオホーツク海に面した町での「高校生・地域と共に進めた学校づくり」のお話を伺いました。生徒会が中心となって統廃合の危機とたたかっただけでなく、生徒・教職員・保護者・地域の四者協議会のとりくみなど、地域と共にすすめる学校づくりの大切さをあらためて学ぶことができました。

この請願署名、採択まではなかなかいきませんが、着実に成果はあげています。40人学級、小学校1、2年生で35人学級の実現。自治体によって

た町での「高校生・地域と共に進めた学校づくり」のお話を伺いました。生徒会が中心となって統廃合の危機とたたかっただけでなく、生徒・教職員・保護者・地域の四者協議会のとりくみなど、地域と共にすすめる学校づくりの大切さをあらためて学ぶことができました。

この請願署名、採択まではなかなかいきませんが、着実に成果はあげています。40人学級、小学校1、2年生で35人学級の実現。自治体によって

「就学給付金の所得制限は撤廃すべき。累進課税を強化して、裕福な層から税として徴収すること教育の無償化をぜひ実現したい。」と前川喜平氏も発言している。生徒会が中心に、学習会を開き、先生や保護者もまきこんで署名にとりくんでいるという高校もある。

「救う、救われるのではなく、教育の無償化を権利として考えたい」との高校生の発言は感動的だった。

「教育費が家計を圧迫するのはおかしい。日本もちゃんと先進国にならないと。」

「夜間定時に通う生徒もたいへん。稼ぎを期待されたり、昼は弟妹のこもりを任せられたり。生活に疲れたと学校にやすむために来る生徒も多い。給食のパンと牛乳の残りを家族分にと競い合って帰る生徒も多くなっている。」

「入学準備金の入学前支給が静岡市で実現。学校環境衛生基準の教室温の基準10〜30度が、17〜28度に改善された。特支の学級編成基準8人を6人にとり意見書が、袋井市議会でも採択された。少しずつだが前進している。しかし、静岡県の教育予算が少くないことに関して、へき地校が少なからず、県知事が回答したが、地域の学校をつぶしたからだろう。学校の老朽化がひどい、雨が降ると廊下が水びたし、壁にひび。教育予算、増やさなくては。」

校や親から電話が殺到し、学生支援機構内部でもそこまでやらなくてもという声があがっているようです。

経済政策としてはなく、ほんとうの無償化が求められています。

「就学給付金の所得制限は撤廃すべき。累進課税を強化して、裕福な層から税として徴収すること教育の無償化をぜひ実現したい。」と前川喜平氏も発言している。生徒会が中心に、学習会を開き、先生や保護者もまきこんで署名にとりくんでいるという高校もある。

「入学準備金の入学前支給が静岡市で実現。学校環境衛生基準の教室温の基準10〜30度が、17〜28度に改善された。特支の学級編成基準8人を6人にとり意見書が、袋井市議会でも採択された。少しずつだが前進している。しかし、静岡県の教育予算が少くないことに関して、へき地校が少なからず、県知事が回答したが、地域の学校をつぶしたからだろう。学校の老朽化がひどい、雨が降ると廊下が水びたし、壁にひび。教育予算、増やさなくては。」

これは主に三人の高校教員をめぐる物語である。一人は、ジョバンニという若い男性教員。彼は教育を通して生徒を良きものの方へ導こうという思いを持っていて、生徒に積極的にかかわろうとするが、空回りばかりしている。二人目は、美術史の老教員フィオリーノ。彼は、教えることへの虚しさを感じている。そして三人目は、女性校長ジュリアーナ。学校内では、自分のやれることは何でもやろうとする。例えば、朝一番に学校に出勤し、学校の隅々を見て回り、トレットペーパーでさえ補充する。若いジョバンニが生徒に過剰に対応しようとする。熱意は分かるが、これはやり過ぎ。学校には内と外があるのです。限られた場所と時間の中で努力を」と忠告するのだ。

しかし、彼女は、朝体育館で寝ている男子生徒エンリコを発見する。母親が失踪し、体育館で寝ていたのだ。母親とは連絡が取れず、生徒は激しく咳き込む。責任上、病院へ。即入院となる。それから彼女は意に反して、生徒にパジャマや

高校生・地域と共に進めた学校づくり

波岡知朗さんのお話 要旨

はじめての赴任はオホーツク海に面した斜里町の清里高校。生徒減で統廃合の危機にあり、町長も呼びかけ、教師も中学3年生の各家庭をまわったが効果なし。無理して進学コースをつくったが、相変わらず定員割れ。荒れた中学生が入学してくると聞いて、ますます希望者減。そのような中で生徒会が地元の人たちにアンケート調査。「あなたは清里高校の生徒をどう思いますか。」「子どもを入学させたいと思いますか。」「先生だったらどうしますか。」「苦勞しながらも364人の回答を集約。そんなに悪いと思っていないことが判明。自信をもって地域に出よう

と呼びかけが始まった。次の勤務は釧路高校。管理の指導で抑え込んだら、卒業式に消火器をばらまいて腹いせ。玄關指導でカバンと制服と頭髪の検査。カバンを持つてこない、「帰れ」と指導。他の生徒に声をかけてかばんを投げてもらって、「もつて来ました。それをも「よし」とする「形から入る」指導が横行。その中で校則改正運動がおこる。生徒会で議論し、生徒総会で決議しようと準備。前日の職員会議で「カバンをもつて来なくてよい」と決定。結局先生が決めてしまうんだ、と生徒にむなしさを感じさせてしまった。

高校だが、定員割れで風前の灯。私立高校にも行けず、やむを得ず入らされてしまったという感覚で、荒れた生徒が次々と辞めていく。毎晩、生徒とけんかする夢にうなされた。

統廃合を検討するたに、町長、教育長、PTA会長、生徒会長が一堂に会してシンポジウムを開催。生徒会長の質問に、教育長が、「他の地域から来ている美瑛の子」と断言。それを機に四者協議「美高フォーラム」が発足。自信無げに裏通りを歩いて、悪さをしていた生徒が、次第に本通りを歩いて通学するようになっていく。美瑛の丘のゴミ拾いや、マラソン大会のラ

ンナー、ゴミ拾いボランティアとして参加したり、町の人と触れ合う機会が増えていく。ボランティアの生徒が、女性に「うるせえ、ばばあ」と暴言。しかし「ばばあ、あなたもじいじになるんだよ」と言いかえされ、「楽しかった」と感想。地域の人もあたたかく声をかけるようになり、生徒も気持ちよくく反応するようになっていった。

教育全国署名集めも、荒れている時には「高校生を何とかしろ」と言われ、まるで苦行。学校が変わっていくと、地域が協力的になっていく。提案やアドバイスを寄せてくれるようになり、地域とともにする学



校づくりの大切さをあらためて感じるようになった。署名の集約状況を毎日郵便局からレタックスで送信していたが、目標に近づくと職員が「もう少しですね」と声をかけてくれるようになり、目標の1万筆を達成した時には郵便局の職員から拍手と「やった」という声。地域の人たちと一緒に取り組んできたことを実感できた。

「救う、救われるのではなく、教育の無償化を権利として考えたい」との高校生の発言は感動的だった。

「教育費が家計を圧迫するのはおかしい。日本もちゃんと先進国にならないと。」

「夜間定時に通う生徒もたいへん。稼ぎを期待されたり、昼は弟妹のこもりを任せられたり。生活に疲れたと学校にやすむために来る生徒も多い。給食のパンと牛乳の残りを家族分にと競い合って帰る生徒も多くなっている。」

「入学準備金の入学前支給が静岡市で実現。学校環境衛生基準の教室温の基準10〜30度が、17〜28度に改善された。特支の学級編成基準8人を6人にとり意見書が、袋井市議会でも採択された。少しずつだが前進している。しかし、静岡県の教育予算が少くないことに関して、へき地校が少なからず、県知事が回答したが、地域の学校をつぶしたからだろう。学校の老朽化がひどい、雨が降ると廊下が水びたし、壁にひび。教育予算、増やさなくては。」

「救う、救われるのではなく、教育の無償化を権利として考えたい」との高校生の発言は感動的だった。

「教育費が家計を圧迫するのはおかしい。日本もちゃんと先進国にならないと。」

「夜間定時に通う生徒もたいへん。稼ぎを期待されたり、昼は弟妹のこもりを任せられたり。生活に疲れたと学校にやすむために来る生徒も多い。給食のパンと牛乳の残りを家族分にと競い合って帰る生徒も多くなっている。」

「入学準備金の入学前支給が静岡市で実現。学校環境衛生基準の教室温の基準10〜30度が、17〜28度に改善された。特支の学級編成基準8人を6人にとり意見書が、袋井市議会でも採択された。少しずつだが前進している。しかし、静岡県の教育予算が少くないことに関して、へき地校が少なからず、県知事が回答したが、地域の学校をつぶしたからだろう。学校の老朽化がひどい、雨が降ると廊下が水びたし、壁にひび。教育予算、増やさなくては。」

「救う、救われるのではなく、教育の無償化を権利として考えたい」との高校生の発言は感動的だった。

「教育費が家計を圧迫するのはおかしい。日本もちゃんと先進国にならないと。」

「夜間定時に通う生徒もたいへん。稼ぎを期待されたり、昼は弟妹のこもりを任せられたり。生活に疲れたと学校にやすむために来る生徒も多い。給食のパンと牛乳の残りを家族分にと競い合って帰る生徒も多くなっている。」

「入学準備金の入学前支給が静岡市で実現。学校環境衛生基準の教室温の基準10〜30度が、17〜28度に改善された。特支の学級編成基準8人を6人にとり意見書が、袋井市議会でも採択された。少しずつだが前進している。しかし、静岡県の教育予算が少くないことに関して、へき地校が少なからず、県知事が回答したが、地域の学校をつぶしたからだろう。学校の老朽化がひどい、雨が降ると廊下が水びたし、壁にひび。教育予算、増やさなくては。」

「ローマの教室で」
監督：ジュゼッペ・ピッチョーニ
イタリア映画 2012年

これは主に三人の高校教員をめぐる物語である。一人は、ジョバンニという若い男性教員。彼は教育を通して生徒を良きものの方へ導こうという思いを持っていて、生徒に積極的にかかわろうとするが、空回りばかりしている。二人目は、美術史の老教員フィオリーノ。彼は、教えることへの虚しさを感じている。そして三人目は、女性校長ジュリアーナ。学校内では、自分のやれることは何でもやろうとする。例えば、朝一番に学校に出勤し、学校の隅々を見て回り、トレットペーパーでさえ補充する。若いジョバンニが生徒に過剰に対応しようとする。熱意は分かるが、これはやり過ぎ。学校には内と外があるのです。限られた場所と時間の中で努力を」と忠告するのだ。

しかし、彼女は、朝体育館で寝ている男子生徒エンリコを発見する。母親が失踪し、体育館で寝ていたのだ。母親とは連絡が取れず、生徒は激しく咳き込む。責任上、病院へ。即入院となる。それから彼女は意に反して、生徒にパジャマや

発売元：ミッドシップ
販売元：TCエンタテインメント
価格：DVD 3,800円+税
好評発売中
(c) COPYRIGHT 2011
BlancaFilm

「救う、救われるのではなく、教育の無償化を権利として考えたい」との高校生の発言は感動的だった。

「教育費が家計を圧迫するのはおかしい。日本もちゃんと先進国にならないと。」

「夜間定時に通う生徒もたいへん。稼ぎを期待されたり、昼は弟妹のこもりを任せられたり。生活に疲れたと学校にやすむために来る生徒も多い。給食のパンと牛乳の残りを家族分にと競い合って帰る生徒も多くなっている。」

エバグリーン 第8回 平和をつくる旅 「山梨平和ミュージアム」

7月15日(日)、高校生、大学生、若者を含め7人で甲府の「山梨平和ミュージアム」を訪れました。エバグリーンは今年で15年目、「平和をつくる旅」は長野の「無言館」から始まり、昨年の「原爆の凶丸木美術館」に続き8回目。昨年の全国教育のついでに山梨県立塩山高校の鮎澤先生の報告を聞き、学校に講師を招いて生徒が取材して学ぶ日本と朝鮮半島の歴史、強制労働や差別をテーマにした歴史の授業や「総合学習」がとても印象的で、その元になったこのミュージアムに強く興味を惹かれました。

浅川保氏を中心に社会科教師がカンパを集めて10年